

第11回

# 高校生 国際シンポジウム

INTERNATIONAL  
SYMPOSIUM FOR  
HIGH SCHOOL  
STUDENTS



高校生国際シンポジウムは全国で進められている探究活動、課題研究の発表会および審査会です。人文社会学の研究から自然科学や数学、ビジネスの分野までの幅広い分野の研究成果をスライド部門またはポスター部門にて発表します。

その他、各界をけん引する方々による基調講演やパネルディスカッション、研修会、参加者対象の交流会、進路に関する座談会などがあり直に本物に触れる二日間のプログラムで、大変充実した学びの場となります。

また、今大会もスライド発表の最優秀発表団体および個人の中からグランプリを決定し文部科学大臣賞の授与を行うこととなりました。

主催

一般社団法人  
**Glocal Academy**

INSTAGRAM



OFFICIAL HP



協力機関 沖縄科学技術大学院大学(OIST),  
一般社団法人性世代教育ネットワーキング機構

協賛(予定) 学校法人福岡雙葉学園理事長、学校法人麻生塾塾長  
麻生泰(特別協賛), 公益財団法人 村田学術振興・教育財団、株式会社 新興出版社啓林館、株式会社新日本科学、株式会社JTB、Edv Future株式会社

後援 文部科学省、経済産業省、オックスフォード大学日本  
事務所, 在福岡米国領事館

2026年2月18-19日  
宝山ホール・鹿児島市中央公民館(鹿児島市)にて開催

研究要項提出  
1月9日締切



## 高校生国際シンポジウムとは

高校生国際シンポジウムは全国で進められている課題研究・探究活動の発表会および審査会です。

人文社会学の研究から自然科学や数学、ビジネスの分野までの幅広い分野の研究成果をスライド部門またはポスター部門にて発表します。

その他、各界をけん引する方々による基調講演やパネルディスカッション、研修会、参加者対象の交流会、進路に関する座談会など2日間のプログラムで多くの学びの場を提供します。

各部門、分野の最優秀発表者は、シンガポールで行われますGlobal Link Singapore\*への推薦参加資格が与えられるほか、表彰対象者には証明書を発行致します。

また、今大会もスライド発表の最優秀発表グループおよび個人の中からグランプリを決定し文部科学大臣賞の授与を行うこととなりました。

過去の表彰対象者がオックスフォード大学大学院、東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学等多くの大学へ合格しています。

## 主な審査基準

- 研究背景、現状の深い理解
- 研究の目的、リサーチクエスチョンの明確さ
- 先行研究や先行事例等をもとにした、研究の意義や独自性の提示
- 提案が調査や実験等、客観的なデータをもとに行われているか(提案型の場合)
- 提案の実現可能性が検討されているか(提案型の場合)
- 結果の論理性や客観性、考察の深さ
- 引用や参考文献が正しく示され用いられているか
- プレゼンテーション・コミュニケーションスキル
- 発表者の主体性や貢献度



詳しくは大会公文や課題研究メソッド(啓林館)等を参照してください。

## お申し込み方法

### 1. 発表申し込み

令和7年12月1日から令和8年1月9日までに、公文別紙2にある研究要綱に研究内容を記入し、PDF形式に変換したうえで大会申し込みWebサイトより提出します。

### 2. 書類審査結果発表

提出された研究要綱をもとに書類審査を行い、令和6年1月16日に発表資格者、発表分野および発表順序を公表します。

### 3. 学校参加登録

発表資格を得た、または見学希望のグループ、個人の引率教員または教育委員会等を含む学校関係者は、令和8年1月下旬までに学校ごとに見学者を含む全ての参加者の情報を集約して学校参加登録をお願いします。

※見学を希望される一般の方(学校関係者以外)は、令和7年12月1日から令和8年2月13日までにWeb上にて一般見学登録を行います。

### 発表時間

スライド発表: 発表12分/質疑応答7分/審査3分 計22分  
ポスター発表: 発表7分 /質疑応答5分/審査3分 計15分

見学のみの申し込みは大会申し込みWebサイトにて。公文は大会Webサイトからダウンロード可能です。

Webサイト: [glocal-academy.or.jp](http://glocal-academy.or.jp)

お問い合わせ: [sympo@glocal-academy.or.jp](mailto:sympo@glocal-academy.or.jp)



### 参加者の声

普段ならば交流のない人達と知り合うきっかけになった、貴重な時間でした。また、普段知り得ないような問題について発表を通して知ることができ、学びが深まりました。(生徒)

同世代の研究内容のレベルの高さに強く刺激を受けました。また、各分野の第一線で活躍されている方々と対話を通じて、今後の進路に対する指針も頂くことができ、大変濃い学びの時間となった。(生徒)



様々な探究・課題研究の発表・審査会に参加してきましたが、地域から国際問題、自然科学や数学に渡るまでこれほど広い分野を高いレベルで見ることができるもののは初めてでした。大変勉強になる会でした。(教員)

このシンポジウムで頂いたアドバイスが大学での学びや、自分自身のキャリア形成に良い影響を与えてくれました。高校生の皆さんはこの貴重な2日間を是非大切にしてください。(過去に参加した大学生)

### 2日間の日程(予定)

#### 1日目

9:00 受付	13:00 発表・審査会 第一部
9:30 開会行事	14:30 第二部
10:00 基調講演	16:00 第三部
10:40 パネルディスカッション	18:15 生徒交流会・研修会

#### 2日目

9:00 受付	12:30 昼食
9:30 表彰式・講評	登壇者・審査員との交流会
11:00 進路座談会	14:15 優秀発表・グランプリ発表
	16:00 閉会行事